

浄土真宗の教義(私の歩む道)

宗名 浄土真宗

宗祖 親鸞聖人

(開山) 誕生 一七三年五月二十一日

(承安三年四月一日)

往生 一六三年一月十六日

(弘長二年十一月二十八日)

浄土真宗本願寺派

本山 龍谷山本願寺(西本願寺)

本尊 阿弥陀如来(南無阿弥陀仏)

聖典 釈迦如来が説かれた「浄土三部経」

・「仏説無量寿経」 仏説観無量寿経

・「仏説阿弥陀経」

・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教

「正信念仏偈」(教行信証)行巻末の偈文

「浄土和讃」高僧和讃 「正像末和讃」

・中興の祖 蓮如上人のお手紙

「御文章」

教義

生活

宗門

阿弥陀如来の本願力によつて信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に選つて人々を教化する。

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の 心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歡喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによつて、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。